

下越・佐渡

空手全国大会初の快拳

けいこ1年 武器は上段げり

燕市吉田東栄町の保育園児、坂井彪我君5才がこのほど、東京々木第二体育館で開かれた全国武道空手道交流大会の幼児の部三種目で優勝した。主催者によると、同大会での三種目制覇は、人の部も含め、三十一回の大会史上初めての快拳。

出巻甲のアクションは、六月の中日本大会の空室に通う坂井君一打撃ありの「フルコンタクト」で優勝した。

七月十六日に開かれた全国大会では「形」と「フルコンタクト」、寸止めの「伝統」の三種目を制覇。相手の二種目の決勝では、ともに得意の上段げりで勝負を決め、頂点に立った。

坂井君の空手歴は一年



全国大会で3種目を制覇、来年の大会に向けて、練習に励む坂井彪我君。新潟市巻甲のアクション巻

余りだが、指導に当たる大塚日出男師範は「スピ」からも喜ぶ。

「ド、スタミナとも抜群特に相手の動きに対する反応が飛び抜けている」と目を見張る。

来年は海外選手が招待され、国際大会が開かれる。「(大塚)先生の指導をよく聞き、一生懸命練習すれば、海外の選手にも勝てると思う」と気合を入れてけいこに励んでいる。

し出し、見つけた送信機の数とゴールまでの時間を競う。今回は全国から計約百四十人が出場し、本県では阿賀野、新発田農、十日町総合の三校がエントリーした。



走り込みにゴールへ向かう選手たち。大会は7月30日、阿賀野市アンテナ片手にゴールへ向かう選手たち。大会は7月30日、阿賀野市

電波求め山中模索

高 ARDF 校 阿賀野で全国大会

アマチュア無線を使う「アマチュア無線コンテスト」の第三回全国高校大会が二十九、三十の両日、阿賀野市で開かれた。天候にも恵まれアンテナと受信機を抱えた選手たちは汗だくになりながら五頭ふもとを駆け回った。

ARDFは、山の中などに五台の送信機を隠しておき、発生する電波を頼りに選手が受信機で探

大会成績は次の通り。
▽144ガムル部部門
①総和工(茨城) ②城北中高(東京) ③大曲工(秋田) ④新発田農⑤阿賀野

〈城山観音〉 浜河内の元曹洞宗慈眼院境内。この観音堂の本尊聖観音は行基作と伝えられ、始めは多田城の城ヶ山にまつられていたものだという。1868年に慈眼院に移されていたが、1873年

観音巡り

ぶらり佐渡

可能

園内で給食を作らなくてはいけない」という規制を一部緩和するもの。現在、同市の幼稚園、小中学校には共同調理場で作られた給食が搬入されており、地場産の食材を園でも同じメニューを食べられるようにすることで幼、保のばらつきをなくし、一貫した食農教育を実現することが狙いだ。

三クラスずつの四、五歳児を併せた計六クラスで合同保育を実施し、全員が西共同調理場で作られた給食を食べる。また併設される知的障害児通園施設の「ひまわり学園」

さがし

にどう取り組むかなどを検討していく」としている。

自身を書いたマジナの会を手こず